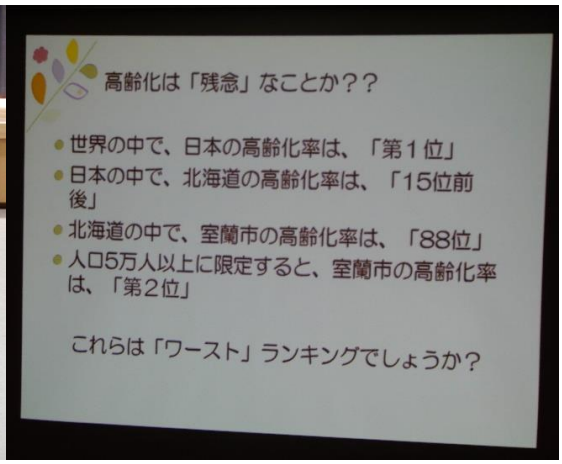
## 室蘭学

室蘭学の第四回が９月２５日（水）開催されました。

テーマ：「室蘭市の高齢化事情とこれからの話」

講　師：波方元希氏

（社会福祉法人幸清会　特別養護老人ホームみたらの杜　生活相談員）

日本の高齢化率は 28%で世界第一位であり、北海道は 31%となっている。その中で室蘭は更に 37%にもなっているという現状を、わかりやすくクイズなどを交えてお話されました。では、高齢化は「残念なことなのか？」と考えさせられる中で、「超高齢化社会の中で、さらに先端にいるのは、室蘭市である。日本が室蘭市の取り組みに注目している」と話され、若者が街づくりの中核を担い活躍するポテンシャルは高いとメッセージをいただきました。後半のグループワークでは、「福祉にとって最も大事なことはどんなことか。」「高齢者が幸せと感じて住みたいと思う日本一の室蘭の町になるために、自分にできることは何か？」に取り組みました。生徒たちは、室蘭のことを真剣に話し合いました。